

# 第8回 逆行列の求め方



## 1. 線型独立と線型従属

$\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \dots, \mathbf{a}_k$ :  $n$ 次元空間のベクトル  $k$  個

- $\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \dots, \mathbf{a}_k$  の線型結合:  $c_1 \mathbf{a}_1 + c_2 \mathbf{a}_2 + \dots + c_k \mathbf{a}_k$  で表わされるベクトル ( $c_1, \dots, c_k$ : 定数)
- $\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \dots, \mathbf{a}_k$  の線型関係:  $c_1 \mathbf{a}_1 + c_2 \mathbf{a}_2 + \dots + c_k \mathbf{a}_k = \mathbf{0}$
- 自明な線型関係:  $c_1 = \dots = c_k = 0$  である線型関係
- $\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \dots, \mathbf{a}_k$  が線型従属:  $\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \dots, \mathbf{a}_k$  に自明でない線型関係がある
- $\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \dots, \mathbf{a}_k$  が線型独立:  $\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \dots, \mathbf{a}_k$  に自明でない線型関係がない (つまり線型従属ではない)

### 性質

- $k$  個のベクトルが線型独立  $\Leftrightarrow$  それらのベクトルはちょうど  $k$  次元空間を“張る”

## 2. 逆行列

$n$  次正方行列  $A$  の逆行列の求め方:

- (1) 左側に  $A$ , 右側に単位行列を並べた  $(n, 2n)$  型行列を作る
- (2) 左側の行列を簡約行列にするように行基本変形を行なう
- (3) 最後, 右側に出てくる行列が  $A$  の逆行列

ただし左側の行列の簡約化が単位行列ではないとき, 行列  $A$  は逆行列を持たない。

### 正則性の判定方法

次のいずれかを満たせば  $n$  次正方行列  $A$  は正則である:

- $r(A) = n$
- 行列  $A$  は行基本変形で単位行列に変形できる
- $\mathbf{x}: n$  行の列ベクトル このとき  $\mathbf{x} \neq \mathbf{0} \Rightarrow A\mathbf{x} \neq \mathbf{0}$
- $A = (\mathbf{a}_1 \ \mathbf{a}_2 \ \dots \ \mathbf{a}_n)$  と書いたとき  $\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \dots, \mathbf{a}_n$  は線型独立
- $A = \begin{pmatrix} \mathbf{b}_1 \\ \mathbf{b}_2 \\ \vdots \\ \mathbf{b}_n \end{pmatrix}$  と書いたとき  $\mathbf{b}_1, \mathbf{b}_2, \dots, \mathbf{b}_n$  は線型独立